

今月の寺ともさん 高濱 正彦・令子さんご夫妻



今月の寺ともさんは、高濱正彦・令子さんご夫妻です。お二人は、5年前に105歳のお母様を見送られました。こう聞くと、さぞ介護の苦勞をされたかと想像しますが、あに計らんや、亡くなる直前の2週間前まで、ご自宅で生活の質を保って過ごされていたのでした。とはいえ、奥様になにかと、母親の世話をしてもらったという感謝の念から、ご主人の趣味である旅行にご一緒に出かけるようになったそうです。

大阪造幣局の桜の通り抜けにはじまり、秋の京都に紅葉を楽しみに何度も行かれました。永観堂や詩仙堂の紅葉は最高だそうです。桜の季節で素晴らしかったのは、原谷苑といって桜の花がシャワーのように降り注ぐ桃源郷のようなお庭です。その他北海道の世界遺産知床岬・東北出羽三山など、あちこち楽しんでおられます。奥さまが感動したのは、高野山だったとか。ある時などは、羽田空港でお互いがはぐれるハプニングに見舞われたこともありました。もちろん、その危機も夫婦の愛情で無事再会を果たしました。またこの度、ご主人が東本願寺の団体参拝に参加することになり、「奉仕の気持ちで、ほこりまみれになってもお寺のために何かしたい」と意気込みを語って下さいました。そのお言葉が、とってもありがたいです。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：風ちゃん
性別：♀
お年：4歳
種類：三毛猫
好物：ねこ草
苦手：ビニール袋をこする音
住所：十川さん宅(高松市)
性格：気性が荒い

ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：ねこ用の草が大好きな風ちゃんです。草は手入れをして冷蔵庫に入れておくと、一週間ももつそうですよ。ちょっと気性が荒い面があり、お腹をさわると思いっきりかみついてきます。でもビニール袋をガサガサとこすると、目をドングリのように丸くして逃げちゃいます。一方で人見知りな面もあり、知らない人が来ると、これまた逃げて行っちゃうのです。それでも大切な家族の一員です。

総代の川崎です。昨年と同様、今秋も四国遍路道を歩く機会を得ました。11月3日は琴電湊元駅から屋島寺、檀ノ浦を経て琴電八栗駅まで、史跡・天然記念物屋島の山中を、続く11月6日には白峯寺から根香寺までの国立公園山中の古道を歩きました。いずれのルートも高松近郊ですが、古く江戸時代の雰囲気を残し素晴らしい環境にあります。中でも五色台の白峯寺から根香寺にかけての平成25年国の史跡に指定された讃岐遍路道「根香寺道」は、遍路の行く手を示す四角石柱の道標や目的の札所までの距離を表す舟型の丁石が多く残る中で、山中の無舗装の道をたどるのは大変気持ち良いものです。歩くことで疲れはするが、近くにある文化財や自然に触れ合う機会を持つのは健康にいいものです。それでは、みなさん、良いお年をお迎えください。

